

〔第69回企画展示〕

# 第3回 酒田の人物史料展

開催期間 平成4年2月6日(木)～平成4年4月19日(日)

開館時間 午前9時～午後4時30分

休館日 3月末日まで月曜休館  
4月以降無休

入場料 大人100円・児童生徒50円  
(65歳以上と身体障害者の方は無料)

## 酒田市立資料館

〒998 山形県酒田市一番町8-16  
TEL(0234)24-6544



渡部平治郎著



## ●開催にあたって

いま時代は大きく変わろうとしています。ここに登場する人物は、英雄、天才、軍人、政治家など、きわだった偉大な個人だけを取り上げるものではありません。

郷土酒田の近代化のために、地域社会の各分野で、その発展向上に尽くした人々と、その人物の属していたグループとか、民衆の役割にも留意しながら「この人と酒田」を視点を据え、業績の一端を紹介しながら、郷土の歴史を語り合う接点にと願っています。とくに明治期以降登場する「偉大な郷土ゆかりの人物」は、身近な方々も多いだけに、人によっては偉人を偉人としてすなおに受けいれるのは、大変勇気のいることありましょう。けれども歴史の流れにぶつかって生き抜いた人、志は遂げられなかったが、未来を見ようとしていた人、あるいは、地域社会の課題解決に取り組んだ人やその道一筋に社会的使命を全うした人など、各時代に生きた人間の主体的な行動やその歴史的役割を考えあわせながら、心広く謙虚に学びとりたいものです。

展示にあたっては、資料整理と人数の関係から次回にも紹介します。このたびも御遺族の方々はじめ、多くの関係者から貴重な資料を御出陳いただきました。厚くお礼を申し上げます。

### 酒田の人物資料展・プログラム

- ① 明治の青春群像（1880年代に生まれた人々） 17人
- ② 郷土史を彩る人々（明治以前） 25人

#### 【本年度】

- ③ 地域社会の近代化に尽くした人々（明治～昭和前期） 18人

#### 【次回・会期未定】

- ④ 地域社会の近代化に尽くした人々・その②（明治～昭和）



自筆の母子像

●小川 宮子(1824～1900)  
女子教育の功績者



●秋野平次郎(1831～1893)  
私財で休み石を設置



●三島 通庸(1835~1888)  
酒田県令



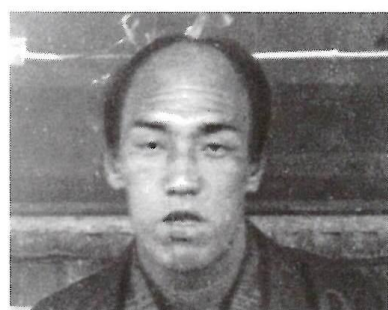
●渡邊作左衛門(1835~1883)  
明治の豪商



●本間 光美(1836~1913)  
庄内農業の近代化



●中村 太助(1838~1907)  
地元動力産業の先駆者



●森 藤右衛門(1842~1885)  
自由民権運動の指導者



●松本 清治(1842~1898)  
飽海自由党の領袖



●白崎 良弥(1846~1891)  
酒田消防組初代頭取

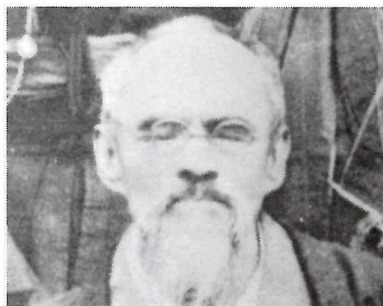


●齋藤 千里(1855~1895)  
両羽新聞社主





●今咲屋咲江(1855~1926)  
踊り、箏の師匠



●齋藤 美澄(1857~1915)  
「飽海郡誌」の著者



●池田亀太郎(1862~1925)  
酒田の油絵の先駆者



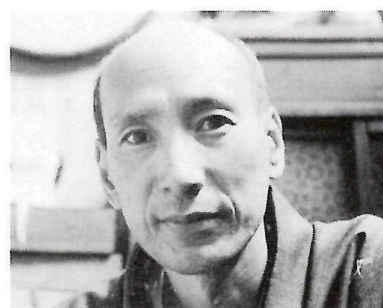
●渡部平治郎(1863~1951)  
義拳団の指導者



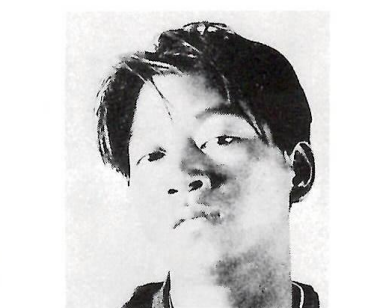
●須田 古龍(1866~1945)  
漢学者



●山口 半峯(1869~1939)  
「書キ方」手本を書いた書家



●高山長一郎(1903~1967)  
洋画家



●小野 幸吉(1909~1930)  
夭折の画家

